

国家資格
公認心理師
対応！

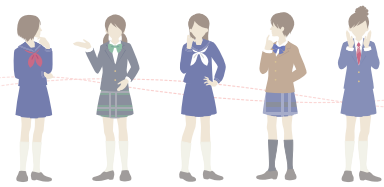
学芸学部 心理行動科学科

Department of Psychological and Behavioral Science

宮城学院女子大学

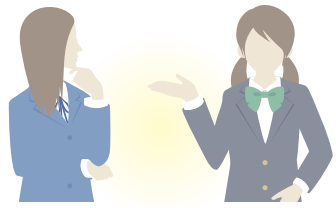
心理行動科学科 Q&A

心理学のことや学科のこと、
先生のことなど、皆さんの疑問や
質問にお答えします。



Q1.心理学とは？

心理学って何を学ぶの？



心理の勉強だから、人の心が
読めちゃうんじゃないの？（笑）
A1を読んでみようよ。

Q2.心理行動科学科とは？

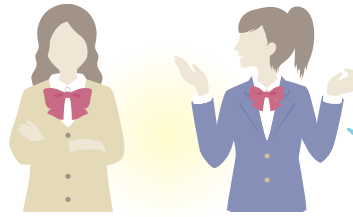
他の大学の心理学科と比べて、
どこが違うのかな？



そんなに変わりがないんじゃないの？
あっ、A2を読むとわかるかも!?

Q3.どんな先生が教えてくれるの？

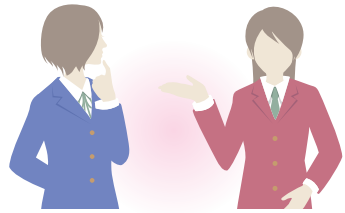
大学の先生ってなんか堅い
イメージがあるよね？



でもA3を見るとそうでも
ないみたいよ！

Q4.どういう勉強するんだろう？

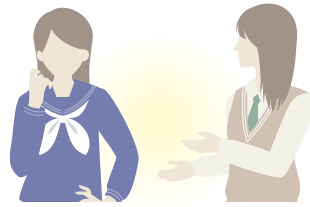
4年間でどんなことを学ぶんだろうね？
他の大学と違うところがあるのかな？



A4でカリキュラムや授業科目が
見られるよ！

Q5.どんな仕事に就けるのかな？

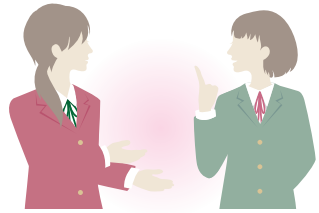
心理学を勉強すると
就職に有利って聞いたけど？



カウンセラーだけじゃないみたい！
A5 A6を見て。

Q6.この学科で勉強してる先輩ってどんな人？

先輩たちの話を聞きたいな？



大学生活のこととか
教えてもらいたいよね！
A7で先輩たちの声が聞けるよ!?

Q7.大学の雰囲気を直接味わえないのかな？

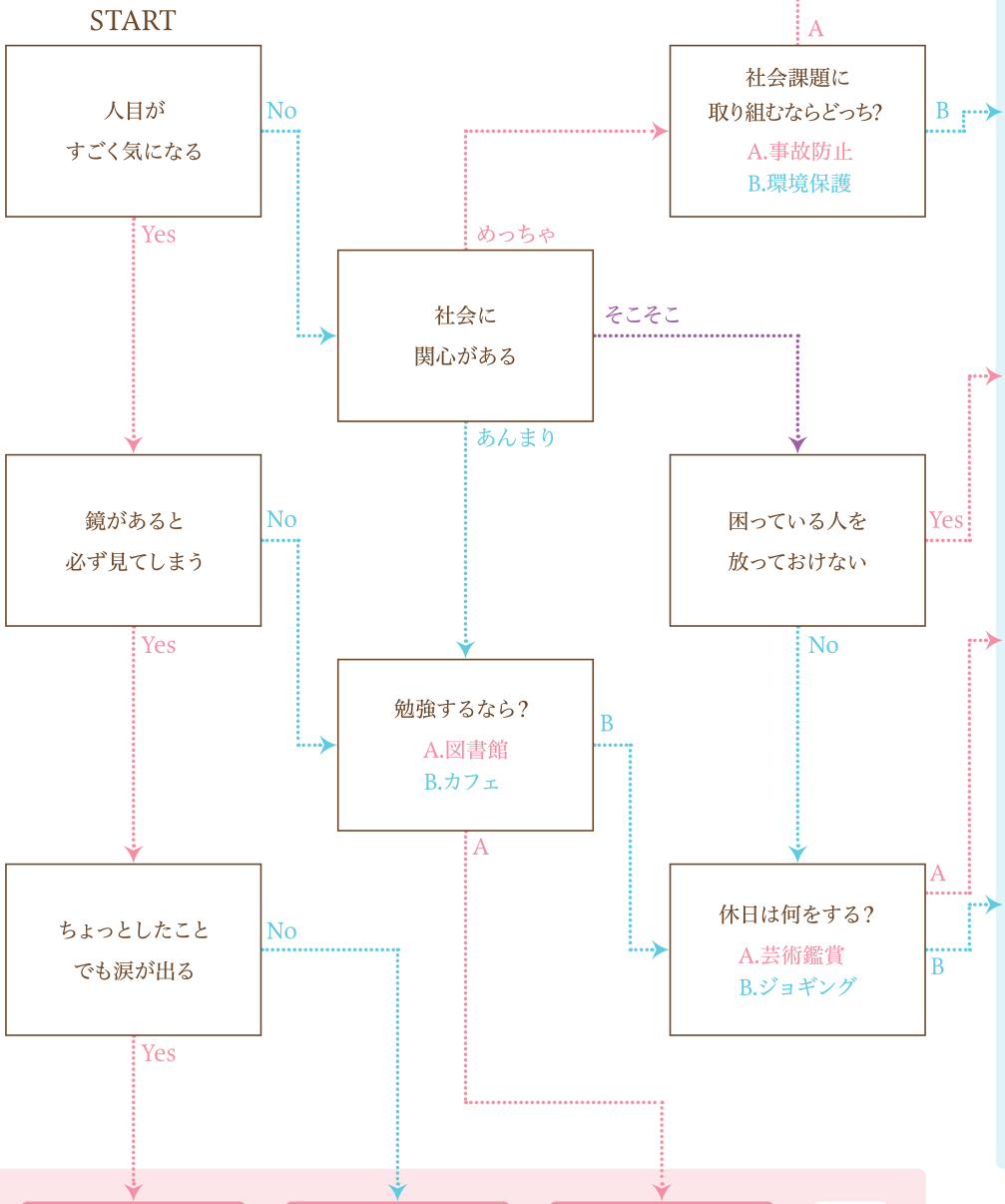
実際に大学に行って、
雰囲気を感じたい！



A8を見るとオープンキャンパスがあるし
大学祭も盛り上がっているみたい！
行ってみなくちゃ!!

自分にあった心理学を見つけよう!

心理学は、心のはたらきをさまざまな角度から科学的に解明する学問です。
心理行動科学科は、行動を心の表れとして位置づけ、現代社会が抱えるさまざまな課題に対応すべく東北地方トップクラスの幅広い専門領域を展開しています。
あなたの興味・関心にあった心理学はどれでしょうか?
下のチャートの設問に答え、矢印に沿って進んでいくと、あなたにピッタリの心理学が見つかります。さあ、トライしてみましょう!







※このチャートのようになる理由はオープンキャンパスA8で聞いてみよう。

A1 心理学とは？

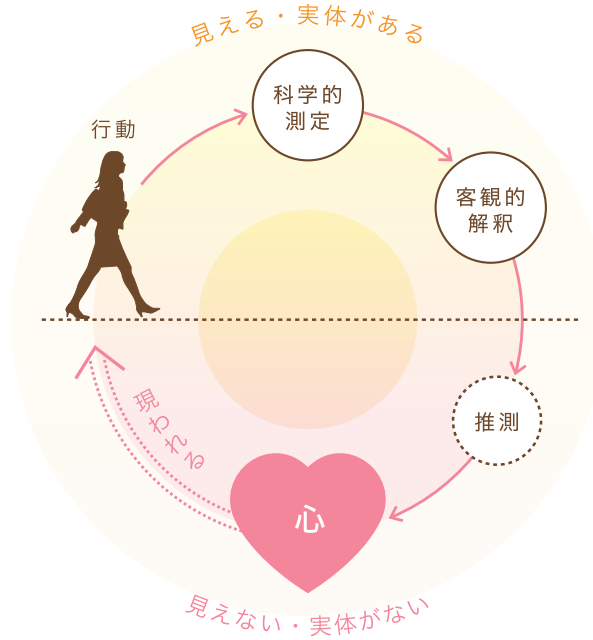
行動を媒介として心を科学する学問です。

ⓐ心理学者はみんなカウンセラーである。ⓑ心理学を勉強すれば心を読める。どちらもよくある誤解です。どこが間違っているのでしょうか？ そして、本当の心理学とはどんな学問なのでしょう？

まずⓐの誤解について。カウンセラーになるためには心理学の勉強をしますが、心理学の勉強をした人全員がカウンセラーになるわけではありません。むしろ、カウンセラーとは縁が薄い領域の方が圧倒的に多いくらいです。カウンセリングは心理学のほんの一領域に過ぎないのです。

では、ⓑはどうでしょうか。「占い師が顔を見ただけでその人が何を考えているかを当てる」ような、そんなイメージだとしたら、それはやはり誤りです。たしかに心理学は心を扱いますが、その過程では、心と密接な関係にある行動を科学的に測定することが求められるのです。

つまり、心理学とは、行動を媒介として心を科学する学問なのです。



［心理学では心をこんな風にとらえます］

A2 心理行動科学科とは？

実証、実践、そして多彩。

A1でも取り上げた「心理学＝カウンセリング」というような誤解は、実は心理学の教育に携わる人たちが自ら創り出したところもあります。すなわち、臨床心理学を中心として学ぶ学科を数多く開設したことです。

宮城学院女子大学の心理行動科学科は、心理学の幅広い領域を、特に科学的手続き（＝実証的手続き）に力点を置いて学ぶ学科として開設されました。この「文科系学問でありながら実証的な学びができること」が本学科の一つの特色です。

また、学科のモットーを「心理学は、机の上だけでは学べない」としました。すなわち、座学だけでなく実践を重視する姿勢。これが二つ目の特色です。学問を大学の中だけの特別な存在として位置づけるのではなく、日常生活や社会実践と密接に関係のあるものとして意識できるようなカリキュラムが組まれています（詳しくはA4をご覧ください）。

このような実証と実践を追求する心理学系の学科は全国的にもそう多くはありません。特に、A3からもわかるとおり、近隣の他大学ではなかなか学べない領域のゼミを揃えていることも特色です。

公認心理師カリキュラムに対応しています。

公認心理師資格は文部科学大臣及び厚生労働大臣が主務大臣となる国家資格で、2017年9月15日に施行されました。本学科は、2018年4月入学者から、公認心理師の受験資格を取得できるようにカリキュラムを整備しました。

- 大学在学中に履修が求められる25科目すべてを開設しています。
- 25科目すべての単位を修得して心理行動科学科を卒業しても、それだけでは受験資格を得られません。卒業後に一定期間、実務に従事することが必要です。ただし、公認心理師受験資格に対応した大学院に進学して所定の単位を取得すれば、実務経験は免除されます。
- 指定科目のうち、演習科目・実習科目は3年次以降に開設しますが、各年度の受講生を5名以内とします。

なお、資格や試験の詳細は「公認心理師試験研修センター」のWebサイト（https://www.jccpp.or.jp）をご覧ください。

A3 教員からのメッセージ

本学科では、多彩な心理学領域を専門とする教授陣が、わかりやすく授業を展開します。

社会心理学　森 康浩 准教授

複数の人が存在する社会的な状況でどのような心理が働き、どのような行動がみられるのかについて知識を積み重ねていきます。社会的な状況での人とのやりとりは日常の中で何度も直面することですし、そのような場面での心理的な傾向を理解することで、具体的な対処法を身につけ、卒業後も様々な場面で活かせるスキルを習得することができます。

感情心理学　木野 和代 教授

悲しみ、怒り、喜びなどの感情を伝え合うことは、お互いを理解し、より親しくなるために大切です。ゼミではこれらの感情について感じる背景やその制御、そしてそのコミュニケーションについて学び、研究します。感情を通してよりよい人間関係を築く。そんなことを目指して、日々の自分の感情を見つめ振り返るところから一緒に始めてみませんか。

認知心理学　瀧澤 純 教授

認知心理学は重大な場面と結びついています。例えば、記憶研究は目撃証言の正確性に、注意研究は運転事故の防止に応用できます。このほか、認知バイアス、意思決定、ひらめき、嘘の検出、表情認知、言語理解など、多様なテーマがあります。ゼミでは実際に検証しながら方法論を学びます。見えない心のしくみを発見するのは楽しいですよ。

経営心理学　大橋 智樹 教授

組織で実際に起こっていることを心理学の視点から見つめてみる。それが、経営心理学のスタンスです。大学で学ぶ学問は、キャンパスの中にだけ存在する特別なものではありません。実際に動いている社会の中に学びを位置づけていく。これが私のゼミで身につける姿勢です。関心の広さと、それを追求したいという意欲があれば、有意義な4年間になります。



A4 カリキュラム・授業紹介

		1年	2年	3年	4年
心理学を中心に学ぶ	ゼミで学ぶ	4年間ずっとゼミがある！ 少人数で学ぶのが「ゼミ」。4年間ゼミのある大学は全国的にも希少です！ 入門ゼミ、実践ゼミ 学べる領域は東北一多彩！	心理学ゼミⅠ、Ⅱ 経営心理学、感情心理学、パーソナリティ心理学、感性心理学 社会心理学、犯罪心理学、認知心理学、スポーツ心理学	心理学ゼミⅢ、Ⅳ	卒業研究ゼミⅠ、Ⅱ
	講義・実習で学ぶ	心理学の周辺領域 心理学だけじゃない！ 医学、人間工学、生理学etc.			
		心理学の基礎領域 充実した基礎固め 心理学、心理学統計法概論、心理学実験実習etc.			
			心理学の基幹領域 ベーシックな心理学の学び 感情・人格心理学、知覚・認知心理学etc.		
				心理学の発展領域 心理学の応用領域への発展 教育・学校心理学、社会・集団・家族心理学 司法・犯罪心理学、産業・組織心理学etc.	
				公認心理師コース 心理実習、心理演習etc.	
社会で学ぶ			社会における実践活動を単位に！	ボランティア、資格（心理学検定、色彩検定、メンタルヘルスマネジメント検定）、「現場部」etc.	
社会人基礎力を身につける		データサイエンスも学べる！ VUCAの時代に必須のデータサイエンス力が修得できる データサイエンス入門、実習	心理学統計法概論、実習	社会調査法概論、実習、多変量解析	
		キャリアサポートも充実！ キャリアデザインetc.			

■ カリキュラムの特徴

■ 基礎領域の充実

基礎領域の勉強は、難しいものでも退屈なものでもありません。基礎領域にこそ心理学の本質があり、また、多様な応用領域へと発展させる大事な土台ともなるものです。本学科では1～2年次の基礎科目を充実させることで、心理学のおもしろさ・奥深さを学び、3年次以降の応用領域への展開をはかります。特に、心理学実験実習では一般の大学の約2倍の時間を使って丁寧に指導します。

■ 4年間を通じてゼミがある

ゼミは1年次から4年次まですべての学年に開講されています。1年次にはオムニバス形式ですべてのゼミを学び、2年次に2つのゼミを選択します。3年次にはさらに1つに絞って学びを深め、4年次にはそのゼミで卒業論文を完成させます。このようにすべての学年において少人数のゼミで学べるカリキュラムが本学科の特色の一つです。

■ 他大学では学べない専門領域

本学科には8つのゼミがあり、これらのゼミでは担当教員の専門領域を中心に、自分の専門を深く掘り下げていきます。その特徴は、東北地方の他大学ではなかなか学べない多彩な領域がそろっているということ。ゼミという少人数でアットホームな雰囲気の中で知識を深めていきます。ゼミの詳細については、A3の各教員のメッセージをご覧ください。

■ 実践経験を単位でサポート

学内にとどまらず、資格取得やボランティア活動など、広く実社会における活動が、心理学の学びをより幅の広いものへと変えてくれます。本学科では、これらを単位として認定する制度が設けられています。このような経験を通して得た知識を現実場面と関連づける力を獲得することで、単なる知識の獲得を超えた真の学びをサポートします。



感性心理学　宮下 達哉 准教授

感性心理学は、感性を心の働きとして捉え印象評価を伴う知覚と位置づけて検討する領域です。モノや人に対して、美しさや魅力を感じる心のメカニズムはどうなっているのだろうか？ゼミでは、そうした疑問に対して感性心理学という観点から学びます。ゼミでの学びを通して、皆さん自身が抱く感性心理学的な疑問点を、一緒に考えていきましょう。

スポーツ心理学　近藤 みどり 准教授

スポーツ心理学は、緊張や不安、仲間とのかかわりなど、心とパフォーマンスの関係を科学的に探究する学問です。トップアスリートの心理サポートと研究に携わってきた教員が、現場で培った知見をもとに皆さんの学びを支えます。心の健康やウェルビーイングにも目を向けながら、「人が自分らしく力を発揮すること」について一緒に学びましょう。

犯罪心理学　浅野 晴哉 教授

犯罪心理学は加害者だけではなく被害者心理も重要にしています。ゼミでは、宮城県警察や児童相談所で働いた経験から加害者・被害者・関係者の心理について学べます。中でも心に大きな衝撃を受ける犯罪被害者等への心理カウンセリングについても学べます。心理支援に関心のある方、ぜひ犯罪被害者を出さない社会の実現に向け共に検討しましょう。

パーソナリティ心理学　友野 隆成 教授

パーソナリティ心理学は、身近な対象である自分や他者の性格について検証する学問です。完全主義、楽観性、HSP、曖昧さ耐性など、ゼミではパーソナリティの多様な側面を学びます。自分を知り、人を知り、そして社会を知る。まさに“彼を知り己を知れば百戦殆うからず”です。先行き不透明な時代を生き抜く力を、ゼミでの学びで身につけましょう。

■ カリキュラムの核となる主要科目の例

心理学実践セミナー

本学科は「心理学は、机の上だけでは学べない」がモットーです。そこで、1年生のうちから、街に出てデータを集めたり、手を動かしてモノを創ったり、アクティブな活動を通して心理学の学びを見つけてもらおうという科目を設けました。
1年間かけて創りあげた「何か」を「ココロサイコロ20XX」と題して一般の方々を対象に発表します。これまでに取り上げられたテーマは、「ディズニーの世界を科学する」「視覚イリュージョン」「エスカレーターはどう乗る!?」「義援金を寄付する心理」などです。

心理学統計法概論・実習（データサイエンス系科目）

データサイエンス概論は2年生の前期に、データサイエンス実習Ⅱは後期に開講されています。前期は、質問紙（アンケート）や心理実験などによって得られたデータを分析するための理論を学びます。前期に学んだ知識をもとに、実際に統計解析用のソフトウェアを用いて、分析の具体的手法を身につけるための科目が心理学統計法実習です。数学が苦手な人でも大丈夫！実際のデータを扱いながら、データ分析の考え方を体験的に学ぶことができます。

心理学特講

教員の専門領域に特化して、最先端の研究成果を踏まえた講義をおこなう科目です。2年次までに修得した心理学に関する基礎知識を前提として3年次に開講され、高度な専門性を獲得するための授業です。ゼミの所属に関係なく、どの教員の授業も受講することができますので、複数の専門性を身につける機会ともなります。

心理学実験実習

心理学の科学的な測定法を様々なテーマを通して実践し、心理学に関する知識を深めます。具体的には、実験者および実験参加者として実験に参加し、そこで得られたデータを分析・解釈し、レポートを作成します。
このような実験実習は、心理学を学ぶ学科では必修科目として開講されていて、本学科でもとても大切な実証的科目です。様々な心理学の領域に触れるために豊富なテーマをとりあげています。
※テーマの例：皮膚電気活動、精神疲労測定、行動観察法、対人葛藤、要求水準、鏡映描写、心理アセスメント法　他

心理学実践研修 B

実社会における実践を単位としてサポートするための科目です。学外における活動やカリキュラム外の活動で、かつ、心理学的な関連性や考察が可能な活動を単位として認定します。
学術的な講演会や講習会に参加するなど、小さな活動を積み重ねてポイントを貯め、一定のポイントが貯まったら単位に交換するというユニークな仕組みになっています。

※心理学実践研修Aについては、P.5 をご覧ください。

近隣の他大学ではなかなか学べない多彩な研究領域のセミナーを展開するとともに、実践を重視。アットホームな雰囲気の中で知識を深め、客観的思考力を身につけます。







A5 学びの質の保証

心理行動科学科では、教員が授業で評価する仕組みに加えて、学外の検定等を活用した外部評価によっても、学びの質が十分な水準に達しているかどうかを確認しています。

心理学の専門家としての能力については、日本心理学諸学会連合の心理学検定2級に合格することを条件としています（心理学実践研修Aの単位としても認定されます）。さらに、日本心理学会の認定心理士を取得することで、多くの卒業生には心理学検定1級を取得できる道も開かれています。

これらの受検にかかる費用の一部は学科から補助しますので、これまでには自己負担額ゼロで合格を勝ち取る学生さんもいます。また、検定合格という目標が設定されることで、ふだんの授業での意欲が格段に高まったという意見も寄せられています。

これらのように、学んだことがしっかりと身についているかを、学外の評価も含めて常にチェックできる仕組みを導入することによって、学びの質を保証しています。

A6 社会で求められる力の獲得

経済産業省の調査では、1.前に踏み出す力（アクション）、2.考え抜く力（シンキング）、3.チームで働く力（チームワーク）が重視されることが分かっています。本学科のカリキュラムは、この3つの力が身につくように考えられています。まず、1年次から小グループで研究をし、広く一般に発表する心理学実践セミナーなど、「アクション力」を獲得する機会がたくさんあります。また、2年次の心理学実験実習からはじまって4年次の卒業研究まで続く実証的な学びでは、科学的データを客観的に解釈する力が求められ、「シンキング力」が身につきます。また、実証と並んで本学科の特色である実践的な学びにおいては、学内外の様々な人々とのコミュニケーションが必要となります。このような実践活動においては、自分の意志を的確に伝える表現力が求められ、この表現力は「チームワーク力」の重要な要素となります。これらの力を獲得することによって、就職活動はもちろん、実社会においてどんな資格よりも役に立ちます。

卒業生の主な就職・進学先

[金融・保険業]日本銀行、三井住友銀行、ゆうちょ銀行、七十七銀行、仙台銀行、山形銀行、
荘内銀行、福島銀行、秋田銀行、北日本銀行、仙南信用金庫、盛岡信用金庫、
みずほフィナンシャルグループ、第一生命保険、住友生命保険、東京海上日動火災保険
[卸売・小売業]藤崎、川徳、イオン東北、みやぎ生活協同組合、サンデー、ダイユーエイト、
タカヤナギ、ホシザキ東北、鐘崎、東京インテリア家具、ツルハ、カワチ薬品、
サマンサタバサジャパンリミテッド、やまや、メガネの相沢、宮城日産自動車、ネッツトヨタ秋田
[医療・福祉業]日本赤十字社、仙台厚生病院、せんだい総合健診クリニック、宮城県対がん協会、
宮城県医師会、東北医科薬科大学病院、社会保険診療報酬支払基金、母子生活支援施設 仙台つばさ荘
[建設・不動産業]三井住友建設、熊谷組、タマホーム、国土防災技術、パナソニックリビング北海道・東北、
タゼン、エイブル、ミニミニ、平和住宅情報センター
[製造業]パナソニック電工、リンナイ、クリナップ、新日鐵住金、NOK仙台支社、カナデン、エフピコ、
アイリスオーヤマ、コーセー、イプサ
[サービス業]JA(岩手江刺、みやぎ亘理、ふくしま未来)、JR東日本東北総合サービス、日本郵便、
富士急ハイランド、金蛇水神社、清月記、仙台ひと・まち交流財団、一の坊、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ
[情報通信業]NHKプラネット東北、福島民報社、第一エージェンシー、マクロミル
[運輸業]仙台空港鉄道、全農物流、キユーソー流通システム、アーク引越センター
[教育・学習支援業]東北大学、仙台白百合女子大学、宮城学院
[公務]宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、塩竈市、警視庁、宮城県警察本部、
陸上・航空自衛隊、仙台国税局、福島労働局、法務省
[進学]東北大学大学院、東北福祉大学大学院、尚絅学院大学大学院、
秋田大学大学院、福島大学大学院、福島学院大学大学院、宮城学院女子大学大学院、
大阪保健医療大学 言語聴覚専攻科、仙台青葉学院短期大学 言語聴覚学科

A7 卒業生・在学生からのメッセージ



2020年3月卒業
前田 奈々穂さん
MAEDA, Nanaho
宮城学院高校出身
アイリスオーヤマ株式会社

幼い頃から人の行動や心理に興味を持ち、いつしか大学では心理学を学びたいと思うようになりました。本学科を選んだ決め手は、理論だけでなく実践的に学べることでした。ゼミ活動ではポスター発表を通して、仮説立案から検証・考察、発信までを経験し、論理的に考える力を養うことができたと思います。
現在、アイリスオーヤマ（株）の公式SNSを担当し、実際の企業の広報活動に幅広く携わっています。大学での実践的な学びが随所に役立っていると感じます。オススメの学科ですよ！



2025年3月卒業
松本 詩音さん
MATSUMOTO, Shion
福島県立福島北高校出身
福島県児童相談所

卒業後も犯罪心理学会に所属し、学びを深めています。現在は福島県の心理職として児童相談所に勤務し、一時保護所において様々な事由を抱えた子どもの支援に携わっています。日々正解のない対応に向き合いながらも「信頼できる大人もいる」と感じてもらえるような関わりを大切にしております。
大学では、先生方が親身に相談に乗ってくださり、挑戦を後押ししてくれる環境がありました。充実したキャリアサポートを含め、大学での学びや経験は今の自分を支えてくれています。



3年
中島 遥希さん
NAKAJIMA, Haruki
宮城県石巻好文館高校出身

私は、非行少年など子どもに関わる心理学に興味があり、広く実践的に心理学が学べるこの学科を選びました。現在は教員免許課程を履修しながら、さまざまな分野の心理学を学んでいます。
1年次からゼミ活動を体験できるため、自分の興味のある分野を早い段階から知ることができ、将来の見通しを持ちながら学習を進められます。また、実験や統計などのデータ分析を行うため、心理学だけでなく、PC操作など実践的な力も身につきます。日々の学びから視野が広がっていると実感しています。



4年
西田 巴南さん
NISHIDA, Hanana
青森県立青森南高校出身

もともと心理学に興味があり、中でも東北地方で唯一の犯罪心理学のゼミが新設されたことからこの学科への進学を決めました。
本学科では1年次からすべてのゼミを体験することができます。また、人の行動や心を統計的に分析し論理的に解釈する力が自然と身につきます。
先生方はとても優しく、親身に寄り添ってくれる方ばかりです。そして、アットホームな雰囲気の中で心理学を学べるため、より身近に感じられ、本学科を選んで本当に良かったと思っています。

A8 イベント紹介

このリーフレットだけでは学科の学びやキャンパスの雰囲気などはなかなか感じ取れないかもしれません。そこで、実際に大学を訪れていただき、学内の様子や授業の内容などを体験できるイベントを企画しました。さまざまな疑問や質問にもお答えしますので、どうぞご参加ください。

OPEN CAMPUS

知りたいことが丸ごとわかるオープンキャンパス！

学科の説明や模擬授業の体験、在学生との交流など、本学科の特徴や雰囲気を体験できる内容盛りだくさんのオープンキャンパスです。学生が実際におこなった実践研究の報告などもあり、入学後のイメージがつかめます！





2026年度 開催日

2026年 6月28日(日) 2026年 7月26日(日) 2026年9月13日(日)
2026年10月10日(土) 2026年10月11日(日) 2027年3月27日(土)

詳細はHPをご確認ください。

学科イベント

●大学祭企画「ココロミル」 10月10・11日(土・日)

心理学を応用した体験企画は、毎年大勢の来場者が訪れる大学祭の目玉です。オープンキャンパス等で学科のインスタグラムをフォローすると、オリジナル性格検査（MEG）とチャレンジ企画を無料で体験できます。



●「ココロサイコロ」 11月23日(月・祝)

仙台駅近くの商業施設「アエル」で、毎年11月下旬に1年生の研究発表会を開催しています。全員必修の「心理学実践ゼミ」での研究成果をポスター発表の形式で一般の方に聞いていただく機会です。メディアによる取材を受けることも多く、毎年延べ数百人の方にご来場いただいています。



●「MG-Pスクエア」 2027年2月6日(土)

仙台中心部の「電力ビル」で毎年2月に開催する研究発表会で、1年～4年全学年の1年間の学びの成果を発表します。4年生は卒業研究について発表しますが、これが大学生としての最後の発表機会となります。お世話になった方々に大学生として過ごした4年間の集大成をご覧いただく機会にもなります。一方、1～3年生にとってはそれぞれ1年後～3年後の自分を重ね合わせて目標を立てられる機会でもあります。

一般向け講座(高校生も参加歓迎)

各講座の開催時期が近くなりましたら、大学HPにて告知いたします。

高校生のための心理学講座	8月7日(金)
宮城県主催高大連携講座	11月28日(土)
学都仙台コンソーシアム主催講座	12月5日(土)





社会で学ぶ活動「現場部」

心理行動科学科のモットー「心理学は、机の上だけでは学べない」を象徴する活動が現場部。心理学の学びに関わる実際の現場を訪問し、「見て、聞いて、感じて、まとめる」アクティブ・ラーニング形式の活動です。これまで、学生さんからの希望も取り入れながら、少年院や少年鑑別所、科学捜査研究所、宇宙航空開発機構（JAXA）、原子力発電所、水族館など多様な現場を訪れてきました。これらの活動は「心理学実践研修」という科目の対象となるため、生きた知識を身につけながら単位にもつながる学科一押しの活動です。

実際に訪れた「現場」

青葉女子学園（女子少年院）、宇宙航空開発機構（JAXA）、新日鐵住金鹿島人材育成センター、仙台家庭裁判所、とみおかアーカイブ・ミュージアム、東京電力福島第一原子力発電所、東北少年院、東北電力女川原子力発電所、阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター、祈りの杜 福知山線列車事故現場、マリンピア松島水族館（当時）、宮城県警察科学捜査研究所、仙台地方裁判所、JAL安全啓発センター

宮城学院女子大学 学芸学部 心理行動科学科
Department of Psychological and Behavioral Science
〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1-1　Tel/Fax：022-277-6491（学科直通　担当：久保田）

心理行動科学科オフィシャルページ
https://www.mgu.ac.jp/departments/pb/

心理行動科学科 Instagram
https://www.instagram.com/mgp_since2007/